

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

東京(1/27)全労連紹介会

日刊
動労千葉

組合破壊攻撃を絶対に粉碎する

青行隊からの報告

青行隊を結成！

一月九日、われわれはついに地本組合防衛青行隊を結成しました。

この間の動労内革マル分子による理不尽な集団暴行!! テロ・リンチ、三里塚・ジェット闘争への敵対と裏切り、数限りない悪罵とののしり、そして組合破壊攻撃、そのようなことを許せないという怒りが二五五名の圧倒的結集となつて青行隊の結成として結果したのです。

勝利への道は今や鮮明です。

青行隊こそ、地本公館の防衛、日刊動労千葉の発刊とならんと、組合破壊攻撃との闘いを支える三大基盤の一つであり、一四〇〇組合員、家族の総決起を牽引する役割を果すものだと思います。

全組合員のみなさん

今こそ青行隊は千葉地本組合破壊粉碎へむけ、一四〇〇名組合員の先頭に立つ決意です。

青行隊は結成後、さらに充実した闘いができる体制をつくるため、今までの取り組みをしてきました。

二〇日、南總アロック(館山)

二二日、総武アロック(新小岩)

津田沼アロック(津田沼)

二十四日、北總アロック(成田)

それぞれ、小隊長会議、交流会、決起集会等を積みあげ、各支部においては、二〇日からの泊体制、二十四時間の連絡体制、パトロール等の取り組みを親組合とともに担つてきました。

青行隊は向います！

「私は、国鉄に入つて一年半しかいたないので、あまり多くの事はわからなかった

かりません。
しかし、何が正義で、何が不正義であるかはわかります」

(幕張支部青年部機関紙「前輪」6号より)

全ての組合員のみなさん！

青行隊は、千葉地本破壊策動のさらなる強まりの中、二月冒頭にも予定されるとしている「本部青年部」の「全国交流オルダ」と称する駒場の跡りん衆活動を許すこととはできません。

「千葉地本は敵対矛盾」「千葉地本再建」ということばを撤回し、共通に話しあうれる場が作られない限り、「交流」オルダなど成り立つはずがありません。

「俺達の駒場は俺達の力で守る。」

これこそ青行隊の闘いです。

私は、この地本防衛の最前線を坦々と、本日(二十七日)十四時、津田沼支部において、「一・二七地本青年行動隊総決起集会」を開催します。

最大限の結束を訴えます。

申込みを申入れる！

現在、進行中の総武、外房、京葉線の線増工事完成時に膨大な業務量増が予想される。地本はこうしたこと展望し、解明要求を左の通り千本申3号にまとめ、一月二十四日、千鉄局に申入れた。

一、線増工事後の業務量増計画と要員確保の展望について
二、線増に関する諸計画と運転保安対策について

三、千葉支社区庁舎の新築計画について
四、幕張電車区の設備計画について
五、勝浦運転区庁舎と新築と設備計画について

六、南總および北總地区の駅車基地の計画について

七、総武、外房、京葉線以後の線増計画について

79.1.27

No. 18

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八九九(公衆)四七二二七一〇七